

結い YUI

山梨県人権擁護委員連合会
事務局発行
甲府市北口一―一―一九
甲府地方事務局
人権擁護課内

「結い」とは田植えなどの時の助けあいのこと。
土くさくあたたかい言葉です。

県内各地で夏の啓発活動 〜富士山五合目でも〜

ユネスコ世界複合遺産登録へ向けての動きが、最終局面を迎えている富士山、その五合目での人権啓発活動も、今回で三回目となる。今年度は県連の正式事業として位置づけられ、七月二五日、丸



を余儀なくされ、それでも治まる様子もない雨風に、結局、暴風雨や寒さと戦いながらの啓発活動となった。

しかし、最悪の気象条件にも拘わらず、意外なほど登山客は多く、用意した三〇〇〇個の啓発物品は、四〇分でなくなつた。五合目啓発は、晴

雨に左右されることなく、実施可能といえる。終了後、全員で食べたラーメンは冷えた体を温め、和やかな雰囲気

ルラインの渋滞で、現地集合が混乱した。今年も五合目までの交通手段を変更し、麓の富士ビジターセンターより路線バスの増発便を利用して、結果、驚くほど楽に五合目に到着出来た。五合目は生憎の悪天候で、スカイパレス二階で開催式の後、しばらく待機

気が生まれ、意見交換も盛り上がった。前回、前々回以上に、有意義な富士山啓発であった。富士山五合目啓発は、実施三年目にしてすっかり軌

道に乗った感もあるが、山頂啓発の復活を求める声もあり、今回は実現しなかった富士山美化への協力など、来年度以降の課題も残した。

世界遺産登録なつた富士山から、「人権の尊重」を世界に向けて発信する、近い将来、そんな啓発が実現することを期待しよう。

また、県内各地で展開された夏の啓発活動のうち、九月一日、都留市の八朔祭でも啓発活動が行われた。当日は地元の委員八名と

県内各地の啓発活動概要		
市町村	月日	行事名
甲斐	7/18	ふたばふるさと一夜
南アルプス	8/1	サマーフェスタ 若草
中央	8/14	与一まつり
市川三郷	8/7	神明の花火大会
鰍沢	8/13	鰍沢ふるさと夏祭り
富士吉田	7/25	市制祭
都留	9/1	八朔祭り
大月	8/1	岩殿山かがり火祭り
	8/8	市制祭
道志	8/14	盆踊り大会
上野原	8/1~	盆踊り大会
	8/23	
忍野	8/8	忍野八海祭り
山中湖	8/23	大相撲会場
富士河口湖	7/25	街頭・施設等啓発
鳴沢	7/15	施設・保育園等啓発
西桂	8/15	三つ峠ふるさと夏祭り
小菅	7/18	盆踊り大会
丹波山	7/26	夏祭り丹波

(開催地・開催日も順不同)

酒井大月支局長、県連から丸山会長、藤巻副会長ほか八名の応援も加わつて「ふるさと時代祭り」の会場となつた谷村一小校門前で啓発物品の配布を行った。平日にも拘らず、好天に恵まれた祭は大賑わい。都留市と法務局で

富士山五合目人権啓発活動に参加して 渡辺 治信 (富士市)
午前八時、スバルライン入り口から五合目に向かいました。昨年の渋滞による混乱は嘘のように、スムーズに五合目に到着しました。下界では薄曇りでしたが、五合目に着くと風雨で体が飛ばされそうでした。甲府からは丸山会長・藤巻副会長・土肥事務局長等が、法務局からは酒井大月支局長他三名が参加、都留協議会からは小林会長以下二五名が参加しました。恩賜林組合売店二階を今年もお借りして、しばらく休憩の後、総勢三七名が悪天候の中で啓発活動を開始しました。激しい雨と風に、吹き飛ばされないように足を踏ん張り、啓発物品を配り人権の尊さを訴えました。下山してきた登山客の寒さで震える手に、人権キャラクターのまもる君・あゆみちゃんを渡すと、ありがたうの言葉と笑顔が返ってきました。登山者には「お疲れ様」と心から声をかけました。悪天候の啓発も悪くはないと思いつつ、無事下山しました。配布した啓発物品は、富士登山のよき思い出となり、記念の品としていつまでも大切にもらえるに違いないと、大満足の啓発活動でした。

用意したうちわとハンカチは、三〇分で残暑厳しい祭りの会場の人ごみに、吸い込まれるように溶け込んでいった。このほか、各地の啓発活動は右表の通り。

人権標語コンテスト

今年の応募総数は八三九七編(小学校部門五三八二編、中・高校部門二八九四編、一般の部一一二編)と、昨年を八一四編上回った。一次審査は各協議会・グループで八月初旬に実施、二次審査は八月二四日、甲府地方法務局において行われ、四四名の委員が審査にあたった。その結果、小学校の部三編、中・高校の部三〇編、一般の部三三編を、九月二八日の最終審査会に送った。

関プロ山梨大会の開催に向けて(Ⅱ)

関プロ企画実行委員会は、すでに四回開催され、山梨大会の骨格が見えてきた。

(一)実施日と会場
平成二二年六月一七日、ハイランドリゾートホテルに

決定した。意見交換会にも出席していただくため、山梨の参加者も宿泊できるよう準備を進めている。

(二)講演会

講師に横田滋ご夫妻を迎え、拉致問題について認識を深めることとした。会場の状況を見つづ、地元団体の参加も検討する。

(三)研究大会

組織体の運営、日常活動の問題点等、基本的テーマを二点に絞り、四分科会で実施

関プロ大会実行委員長に選任されて

来年度の関プロ大会実行委員長に選任されました網倉です。

開催地は、前回の山梨大会が甲府開催であったことを考慮し、富士吉田市に決定しました。他県から来た参加者にも喜んで貰えるような大会にしたいと考えています。

実り多い関プロ研究大会にするためにも、委員の先生方の全面的な協力をお願いいたします。



する方向で検討されている。

(四)意見交換会等
レセプションは、あまり華美にならない程度に、山梨らしいおもてなしを検討し、また、エクスカージョンは、他県

連の参加者を意識して、富士山周辺の案内が出来ればと、計画が進められている。

(五)企画実行委員会の体制
網倉委員を実行委員長に

選出し、県連副会長をリーダーとした四部門に四〇名を配置。それぞれ具体的な検討が進められており、すばらしい山梨大会の企画策定が期待される。

なお、この委員会
は、あくまでも大会の企画・実行のため
にあつては、山梨県連挙げての体制が不可欠である。

全委員のご協力をお願いしたい。(事務局 土肥)

網倉 義久

SOSSMILKター

今年も一〇月よりSOSSMILKターが小中学校全学年に配布されるが、昨年一〇月、今年九月までに法務局に寄せ

内容(含重複)	人
いじめ	37
クラス・友人	38
家庭のこころ	19
部活のこころ	4
恋愛のこころ	4
勉強のこころ	2
先生のこころ	2
自分の性格	2
インターネット	2
その他	13

られたミニレターの数は一〇九通にのぼった。相談の内訳は例年通り「いじめ」「クラス・友人」が上位を占め、その八割が女子からのものであった。

委員から一言

「家庭教育の充実」

志村 和彦(都留)

保育園を経営して三〇余年、保護者の意識の変遷に困惑しています。義務を果たさず権利を主張する大人と、育児や教育を他人任せにする親の増加です。なんと、育児や教育を他人任せにすることも、家庭での本音を語る会話の減少は、テレビ・ゲーム・携帯電話などにより加速されています。その為、人間関係の希薄化や、自分以外の人への冷酷な仕打ちなど、顔を背けたくなるような事件が多発しています。いまこそ人権啓発活動の必要性を痛感します。

全連総会開催される

七月二二・二四日の両日、名古屋市において、第五七回全連総会が開かれ、本県からは丸山会長が出席した。

開会行事に続き、議事では、「宣言」および「決議」が採択され、滞りなく閉会した。なお、今年度も丸山県連会長が副会長に再任された。

退任された委員の方々

平成二二年一〇月一日までに次の委員の方々が退任されました。在任中のご活躍に敬意を表し、今後のご健勝をお祈りいたします。(敬称は略させていただきます)

- 橘田 敏子 (笛吹市)
- 村松 正志 (甲府市)
- 奥田 理 (甲府市)
- 橘田 久 (甲府市)
- 野呂瀬正彦 (昭和町)
- 望月 秀哉 (身延町)
- 滝口 政憲 (富士吉田市)
- 桑原 肇 (富士吉田市)
- 杉本 勉 (大月市)

■飯塚 晴秀氏(甲州市)は九月にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

編集後記

名月と虫の音に心身ともに癒されます。秋の夜長にぜひ一読下さい。

